

西明日香の散策



集合



移動中



牽牛子塚古墳

寒い日が続いていますが、この日も時々雪がちらつく風の冷たい日でした。二十数名のサークル員が飛鳥駅前に集まり、観察会が始まりました。

まず初めに明日香でアイスプラントを栽培している農家さんを訪ねました。そこから牽牛子塚古墳方面へ歩きました。牽牛子塚古墳を見ながら丘を登り野道や林を散策しました。



アイスプラント

ハマミズナ科 肉厚の葉や茎にミネラル（塩）を蓄える細胞があって、凍ったように見える。



シンジュキノカワガ

コブガ科 幼虫はニワウルシ（シンジュの木）が食草で、写真の繭もシンジュの木にくっついていて、触ると音がする。



ケンボナシ

クロウメモドキ科ケンボナシ属落葉高木。8ミリ前後の球形の物が果実。根元の膨らんだ果柄部を食べる。

観察した植物

タコノアシ

タコノアシ科の多年草。赤い実をつけるとタコノアシのように見える。

ツルボ

キジカクシ科 球根があって、秋の初めにピンク色の花を咲かせる。花柄が残ってドライフラワーのようになっている。

カラクサナズナ

アブラナ科の越年草。帰化植物。カラクサガラシ、インチンナズナとも。ロゼット状で冬を越している。

コブシ

モクレン科落葉高木。早春に白い花をつける。これから咲くつぼみが大きく膨らんでいる



タコノアシ



ツルボ



カラクサナズナ



コブシ